



図書館だより



2022年
11月25日号

秋草学園高等学校 図書館

秋から冬へと寒さが一段と増してきましたが、みなさん体調を崩さずに過ごしていますか。最近では可愛い見た目の防寒グッズもたくさんあり、おしゃれを楽しみながら寒さ対策できるのがいいですね。図書館には編み物の本も揃っています。「手作りのあったか小物」の本を展示していますので、立ち寄ってみてください。さて、巷では20日に開幕したサッカーワールドカップが盛り上がりを見せていますね。初の8強入りを狙う日本チームの応援に力が入っている人も多いと思いますが、あわせて本でもサッカーを楽しんで、サッカー熱をさらに高めてみませんか。

図書館と県民のつどい埼玉 2022

県内最大級の図書館イベント「図書館と県民のつどい埼玉」が今年もオンラインで開催されます。本に興味を持ちたり、図書館について知ってもらうための企画が盛りだくさんです。直木賞作家 門井慶喜さんやサイエンスライターの高柳芳恵さんの講演もあります。年に一度の図書館のお祭りを一緒に楽しみましょう！特設サイトは→[こちら](#)



●門井慶喜さんの著書を読んでみよう

913.6-カ『おさがしの本は』

門井 慶喜 || 著 光文社

図書館業務の1つであるレファレンスサービス。利用者の求める資料や情報を探す手伝いをするこの業務に就く主人公が利用者の様々な質問に答えていく様子が描かれています。利用者の求めている文献はどれか!? 謎解き感覚を楽しみつつ、図書館の仕事がわかる1冊。

「手作りのあったか小物

594-ス『大切に使いたい手編みのこもの』

すぎやま とも || 著 日本ヴォーグ社

デザインの可愛い毛糸の小物の作り方が色々と紹介されています。手袋や靴下、ニット帽などどれも身につけたくなるものばかり。自分の好きな色でアレンジを楽しむのもよさそうです。編み物が好きな人におすすめ。

594-ミ『ゆび編みのかわいい小物』

minao || 著 成美堂出版

かぎ針や棒針を持っていないけど、編み物に興味があるという人におすすめしたいのがゆび編み。なんと指だけでマフラーやアームウォーマーまで編めてしまいます。マスクカバーやプレスレットなども可愛いです。



「読書でもサッカーを楽しもう

B913.6-オ『ホケツ!』

小野寺 史宜 || 著 祥伝社

レギュラーになれないままサッカー部引退が近づく高3の宮島大地。代替わりを目前に部内では人間関係がぎくしゃくし出し、さらに家庭や進路でも迷いを抱える日々。「自分はどうしたいのか」を自らに問いかけながら、仲間のため、自分のため、彼は動き出す。



913.6-ハ『サッカーの神様をさがして』

はらだ みずき || 著 角川書店

長年続けた仕事を辞め、サッカーライターになった僕はずっと心に引っかかっていた思いと向き合うため、ある物語を書き始める。サッカー部のない高校でサッカー同好会を立ち上げ、夢中でボールを追いかけた自身の青春時代を元にしたそれはサッカーの神様を探すための物語だった。

「新着コーナーの気になる本

913.6-ア『いつもの木曜日』

青山 美智子 || 著 宝島社

早朝のマーブルカフェの風景から始まり、繋がっていく12人の物語。ページもそれぞれの物語に合わせた装飾となっていて言葉と色彩に心が温まり、前向きな気持ちになれます。12人のその後を描いた同著者の『木曜日にはココアを』も併せて楽しんでください。

913.6-イ『君のクイズ』

小川 哲 || 著 朝日新聞出版

クイズ番組の決勝戦、優勝者が決まる最後の1問。一文字も問題が読まれていない内にボタンを押した本庄絆が正解を言い当て優勝した。これはヤラセなのか、違うならなぜ解答できたのか、この決着に納得できない対戦相手三島は真相を追う。本庄はどんな手を使ったのか。

□ 司書の今月はこの本読みました

いつも優しいぬくもりを感じさせてくれる瀬尾まいこさんの作品。『掬えば手には』(913.6-セ 講談社)の主人公は何も取り柄がないのがコンプレックスの梨木くん。自分だけの力を見つけたくて必死な彼が「これが僕の能力かも」と信じているもの、それは「人の気持ちを読める」こと。この力を本物と信じ、常に周りの気持ちに目を向け、困っている人がいれば手を差し伸べることに青春時代を費やす梨木くんの物語。梨木くんのまっすぐな気持ちや行動力、彼の言葉や行いに心を動かされた人たちの様子、全てが心に響きました。私の今年No.1に決定です。【今井】